

ふじみなヒト×コト

子どもが輝く地域の居場所 矢川児童館

2023年4月、矢川駅近くにオープンした「くにたち未来共創拠点矢川プラス」内に移転し、2年目の夏を迎えた。新たなコンセプトのひとつは「創作活動の拠点」で、遊戯室や図書コーナーに加えてアトリエも新設した。すでに数多くのイベントが実施されており、小学校高学年から中高生向けの木工ワークショップでは「カードゲームがしたい」という子どもたちの要望から近隣住民とも協力しながらアトリエに置くテーブルを作り上げた。「子どもたちにも『自分たちの居場所は自分たちで変えていけるんだ』と気付いてもらえたのでは」と館長の田口陽平さんは話す。タブレット端末の導入も進み、イラストソフトを使って作品作りに励む子どもも多い。

移転してから来館者数は大きく増加し、市内のみならず、南武線・中央線沿線などの市外の駅から電車による親子連れもいるという。20時までの夜間利用が可能になったということもあり、特に中高生の利用が増えた。注目は学生自身が矢川プラスを盛り



上げる担い手となる「チームプラス」の活動だ。現在メンバーは20人弱の中高生で、各人の興味関心に合わせて自由に活動を展開している。2023年度は子ども主導で本のポップ作成や小学生向けのビーズづくり教室、焼き芋イベントを実施したという。有志が結成したダンスチームは、今ではイベントを盛り上げる常連だ。

取材日には夏祭りに向けて、中高生や地域住民、職員からなる実行委員会の会議が進められていた。実行委員長は「チームプラス」にも所属する高専生が務める。田口さんは「児童館に来た子どもたちを『地域の子』として、商店街や自治会など地元の方々と一緒になって見守っていきたい」と話す。多世代が交流できる拠点として、たくさんの笑顔が輝き、交わる場所へと進化していきそうだ。

矢川児童館

利用対象: 0歳から18歳までの子ども(乳幼児には保護者の同伴が必須)

開館時間: 9:30~21:00
(小学生以下は18時まで、中学生以上は20時まで、20時からはイベントに参加する場合のみの利用)

休館日: 毎月第1・第3木曜日、年末年始

[URL] <https://yagawa-plus.jp/facility/jidoukan/>

WEBで情報発信中! Check!

会員からのお知らせも随時発信できます。ぜひ、情報をお寄せください。

<https://kunitachicollab.com/>

活動メンバー募集中!

興味がある方は事務局にお問い合わせください。

- 2024年度の新規会員** (2024年2月~2024年8月)
- 株式会社つむぐ せいかつサポートぽっかぽか
 - STYLE PHOTOS
 - 地域資源ハッケン隊 Cet (東京農工大学 農学部 学生団体)
 - NPO 法人 呼吸舎
 - 津軽三味線廣原三弦道
 - わくわくアロマ
 - カマエ ● NPO 法人ワンステップかたつむり国立

PLUM JAM

プラムジャムは、国立市の中間支援組織「くにたち地域コラボ」が運営および拠点とするコミュニティスペースです。会員登録の受付や、NPOなどの地域活動に対してさまざまな支援を行います。どうぞお気軽にお越しください。

プラムジャム
国立市富士見台1-7
富士見台第一団地1号棟1F

JR南武線 谷保駅より徒歩5分
JR中央線 国立駅より
バス「第一団地」下車

むっさ21(商店街)内
時計店

取材・文: 日下文世、大石祐輔、甲斐田愛子、根子蓮太郎

ごぜん塾で新しい学びのきっかけをつくろう!

10:00~12:00
場所: プラムジャム

月 楽しく絵手紙
毎月第4月曜日 10:15~12:00
1回1,000円
講師: 図師チヨ (日本絵手紙協会 公認講師)

火 もう一度、書道にチャレンジ!
毎週火曜日 10:00~11:30
入会金2,000円
1回1,400円
講師: 山根浩子 (プロウタイム(こころを耕す書道の時間))

水 PC、スマホ、タブレット お困りごと相談
毎月第2・4水曜 10:00~12:00
無料
講師: 隈井裕之 (国立せいさく所)

木 楽しい面白いドイツ語レッスン
毎週木曜日 10:00~11:30
1回1,500円
講師: アンドレアス・ジモンゼン (語学と文化交流ジモンゼン)

金 プラカゴづくり
毎月第2金曜日 10:00~11:30
1回1,000円 材料費別500円~ (回数、材料費は作る物により変更あり)
体験参加可
体験料、材料費込み1,000円(体験は小物入れ)
講師: ユウユウヒユミナ

土 ハワイアン音楽を聴きながら~ハワイアンリボンレイ
毎月第4金曜日 10:00~11:30
1回1,000円 材料費別500円~ (作る物によって変わります)
体験参加可
体験料、材料費込み1,000円
講師: ミリミリリボン Maiko (ミノアカリボンレイ公認インストラクター)

日 キホンのデッサン
毎月第2・4土曜 10:00~12:00
1回1,000円
講師: 山内唯志 (まちかどデッサン会)

ロザルパの楽しいイタリア語
毎月第1・第3土曜 各クラス月3,000円
① 中級クラス 10:00~11:00
② 初級クラス 11:00~12:00
講師: ロザルパ・ディ・メッリオ (イタリア語講師)

*参加希望の場合は、事務局にお問い合わせください。

あなたの「まち活」応援します!



くにたち プラムジャム通信

Kunitachi PLUM JAM-NEWS

- ▶ P1 Cover story 株式会社つむぐ
- ▶ P2 会員紹介
- ▶ P3 総会報告/市民活動調査報告
- ▶ P3 くにたち市民コラボフェスタ
- ▶ P4 ふじみなヒト×コト「矢川児童館」
- ▶ P4 ごぜん塾で新しい学びのきっかけをつくろう!

発行 ▶ くにたち地域コラボ

Cover story

小さな「困った!」に寄り添う、ひとりにしない地域づくり

ポレポレ訪問看護ステーション せいかつサポートぽっかぽか (株式会社つむぐ)



左から下学坪留美子さん・木志諒さん・工藤将史さん・工藤芽衣子さん・高来祐美さん。退院看護、介護をはじめ、さまざまな生活シーンで足りていないことをサポートする。

国立市で生活サポートが受けられる新しいサービスをご存じだろうか。子供から高齢者まで、病気や障害の有無にかかわらず、どんな人でも困ったときに助けてくれる心強いサービスである。

2024年4月からスタートした株式会社つむぐでは、難病指定を受けている専門性の高い方のケアを行える「ポレポレ訪問看護ステーション」と、医療、介護保険では賄えない、ちょっとした困りごとを一緒に解決してくれる「せいかつサポートぽっかぽか」の2つの事業を行っている。この2つの事業が一体となり、本人が暮らしたい場所で安心して自分らしい生活が送れるようにサポートする。

退院支援看護師の経験を持つ管理者の工藤芽衣子さんは、訪問看護ステーションと一緒に生活サポート事業を始めたきっかけをこう語る。

「単身独居や日中独居の方も多く、訪問看護や介護など地域のサービスを活用しても人手が足りない人がいる。介護者が体調を崩しても病院に

受診する時間を取ることができない、受診に付き添うため家族が仕事を休まなければならないなど、足りていないことが多い。そこに手が届けばと思い、生活サポートを一緒に立ち上げました」

代表を務めるのは息子の工藤将史さん。幼馴染みでもある木志諒さんをはじめ、スタッフとともに母・芽衣子さんの想いを形にし届ける。ときには産前産後の家事や相談、万一のときの病児保育、人生最後を自宅で過ごしたいという方への終末期看護まで、本人のやりたいことをできる限り叶えられるように寄り添う。その他にも矢川団地主催の「よるず相談室」に出向き、スマホの使い方から介護や医療のことまで困っていることの相談など地域でも活躍中だ。

「行き場のない人を作らない地域のために、誰でも集えるたまり場を作りたい」。芽衣子さん・将史さん親子は、地域と一体になったサポートを目指している。

Information

[TEL] 080-4576-3520 (ご予約はこちらから)
[FAX] 042-505-7972
[メール] pokapokasapota@gmail.com
[営業時間] 9:00~18:00 (土日祝休み/相談に応じます)
[URL] <https://polepoleya.com/>



会員紹介 Pick Up!

会員の皆さまの活動をピックアップ。今号は福祉、学習支援、環境問題など地域および社会課題に取り組む団体をご紹介します。

「大丈夫、ひとりじゃない」保護者に寄り添うコミュニティ | くに comm

「くに comm」を主宰する生原祐美子さんは自身も3人の子を育てるお母さん。子どもがまだ小学生の頃、子育ての不安や困りごとを誰に相談してよいか、兄妹それぞれの個性を認めながら子どもに何をあげたらよいか。当時は保護者同士が寄り添うような仕組みはなく、ひとり悩んでいたという。そんな自身の経験から、発達の凹凸や不登校など子育ての心配ごとを、保護者の方々が気軽に話せる場を作りたいとの思いで2023年8月から活動を始めた。主な活動は公民館やコトナハウスで開催するお話し会だ。「ゆる

りと話そう」「ちょっくら話そう」と題したお話し会はこの1年で20回以上も実施しており、延べ50名ほどの方が参加していて、問い合わせの窓口でもあるLINEの公式アカウントにはさらに多い100名を超える登録者がいる。活動を始めてから1年、少しずつ活動の輪は広がっているが「もっと多くの方に知ってもらい一人でも多くの保護者の悩みに寄り添えるよう、細く長くこの活動を続けていきたい」と話す。今後はより気軽に参加できるワークショップやオンラインでのお話し会などの取り組みも検討している。



Information
 【参加者募集】
 お申し込みは>
 公式ラインより
 ■ Instagramもやっています!
 @https://www.instagram.com/kuni.comm/?hl=ja

まちの人々に、アートを通じた交流の機会を

「STYLE PHOTOS」を運営する写真家、奥竹 翠さんは、国立市東の「芸術資源館」を活動拠点に「シェア・アトリエ NU STUDIO くにたち」をオープンした。芸術資源館は二人の画家、中本達也と臼井都のアトリエをリノベーションした築70余年の建物。奥竹さんは毎週火曜日に当施設の一部をシェア・スペースとして、近隣在住の作家や画家のワークショップや創作の場として貸し出している。カジュアルな打ち合わせにも利用可能で「アーティスト同士が分野を超えて交流し、新たなアイデアが生まれる

場になれば」と話す。自身は写真家として同施設内で「写真クラブ」を主宰。写真の整理方法、アトリエやガーデンスペースでの撮影会など、地域の方が気軽に参加できる企画を実施している。「これまで約70年間、芸術資源館がアートを通じて人とまちと繋ぎ、交流を生み出す場であったことをNU STUDIOでも継承したい」と話す奥竹さん。様々なアーティストが活動拠点として利用することで、まちの中で芸術を身近に感じられる場所になっていきそうだ。



Information
 <シェア・アトリエとフォトサロン>
 NU STUDIOくにたち
 利用可能日: 毎週火曜日
 利用可能時間: 10時~17時
 @nu.studio.kunitachi

「できた!」を育み生きる力を身につける | ガールスカウト東京都第145団

1910年にイギリスで始まったガールスカウトは全世界1,000万人以上、153カ国が加盟する世界的な社会教育団体。145団の発団は1976年、当時国立市にはボーイスカウトはあったがガールスカウトはなく、立ち上げからまもなく50周年を迎えるその活動を見守るのが池上洋子さんだ。ガールスカウトに入団できるのは就学前1年から高校3年生までと幅広い。145団では最盛期には50名を超えるスカウトが活動し、都内でも有数のスカウト数だったと言う。活動は日々の集会や市内でイベントへの参

加、キャンプなどの野外活動、国際交流、環境問題等まで。その準備段階からリーダーを中心に団全体で考え活動を行っていく。モノやコトが溢れた現代、家庭や学校ではできないような自発的で創造的な体験を通して、他者との関係の作り方を学び、「自分でできた」という成功体験を積み重ねていく、これこそがガールスカウト活動の魅力のひとつだろう。しかし少子化や習い事の細分化、さらには近年のコロナ禍を受け、入団希望者は少なくなっている。2026年に設立50年を控えた今、一緒に活動してくれる仲間を募集中だ。



Information
 【東京都第145団の入会キャンペーン】
 期間: 2026年3月まで
 対象: 就学前1年~小学6年生
 内容: 初年度のみ入会費用の一部を補助します。詳細はお問い合わせください。
 [連絡先] girlscouts.tokyo.145@gmail.com
 https://www.facebook.com/girlscoutstokyo145

『市民活動調査報告書』が完成、ぜひ活用ください

国立市内の市民活動93団体を網羅!

2024年3月末日発行

くにたち地域コラボでは、2022年~2023年にかけて市内のNPO法人などの実態を調査し、その概要を『令和5年度くにたち市民活動調査報告書』として国立市に提出しました。その総数は、任意団体を含む合計93団体。それぞれの活動について、まちづくりから文化、子育て、環境、福祉まで分野ごとにまとめています。国立市のWebサイト(国立市→暮らし→市民活動・コミュニティ→NPOとクリック)に掲載されているほか、プラムジャムや公共施設には冊子版も設置しています。

地域のユニークな人材や意欲ある市民が活躍できるように、そして今後さらに市との協力が進み、市民とともに暮らしやすいまちづくりの一助として、ご活用ください。



Information
 [URL] <https://www.city.kunitachi.tokyo.jp/soshiki/Dept05/Div01/Sec01/gyomu/kurashi/0493/10684.html>



2024年度総会が無事終了

2024年度通常総会

2024年5月21日(火)18時 @プラムジャム

今年度の通常総会を実施し(参加正会員11+委任状5で総会成立)、前年度の各事業報告および2024年度の事業計画案、予算案、役員改選など各事業が提示され、可決されました。

2023年はプラムジャムの運営、会員内外の活動相談事業のほか、研修事業「市民活動と著作権」、『くに

たち市民活動調査報告書』の制作、そして今後の中間支援組織について議論する「ビジョン検討会」などを実施しました。

2024年度も会員をはじめ、市民活動団体の皆様のお役に立てるよう、より一層努力して参ります。

Let's meet up!

あたらしいこと / はじめよう!

『くにたち市民コラボフェスタ』

2024年9月28日(土) 10時~15時 @矢川プラス

市内の市民活動団体が、秋の一日、矢川に集まります。まちづくりから子育て、スポーツから環境、福祉まで。車いすや手話の交流体験、駄菓子やさんにステージも。一緒に学んで楽しんで、新しい発見や出会いが生まれるかも。

参加予定団体

- i-ze(いーぜ) ●おへそキッチン ●Colorful(カラフル) ●総合型地域スポーツクラブくにたちエール ●NPO 法人国立市観光まちづくり協会 ●(一社) 国立ごはん ●くにたち桜守 ●NPO 法人くにたち農園の会 ●くにたち発達しょうがいを考える会「太陽と卵の会」 ●NPO 法人くにたち富士見台人間環境キーステーション ●(一社) 真山舎 ●STYLE PHOTOS ●学生団体たまごまち ●NPO 法人東京自立支援センター ●(一財) 中本達也・臼井都記念芸術資源館 ●(一社) POC ●谷保のネオおばあちゃん家 ●(一社) リング・リンクくにたち ●りんごのほっぺ科学あそび教室 ●WorldCleanup Day Japan くにたち ●NPO 法人ワンステップかたつむり国立、ほか

■アクセスマップ 場所: 矢川プラス (JR南武線 矢川駅より徒歩4分)

※駐車場はありません。公共交通機関、自転車、徒歩でお願いします。
 ※飲食ブースあり ※雨天実施(荒天の場合は中止する場合があります)

【共催】くにたち市民コラボフェスタ実行委員会/国立市/社会福祉法人国立市社会福祉協議会/くにたち地域コラボ
 【お問い合わせ】国立市ボランティアセンター メール: kvk@kunitachi-csw.tokyo 電話: 042-575-3223(月~金 9時~17時)

